

認知症は、脳の細胞が死んでしまったり、働きが悪くなったりして、脳の機能が徐々に損なわれていく状態をいいます。

認知症って どんな病気？

認知症本来の症状として記憶、見当識障害、理解、判断力の低下などの症状が現れます。

本人の性格や周囲との関わり方、環境などが関係して引き起こされる症状として、「徘徊」や「ものとり妄想」などの周辺症状が現れることもあります。

加齢による物忘れ	認知症の記憶障害
体験の一部を忘れる	体験そのものを忘れる
顔はわかるが名前を思い出せない	その人が誰なのかわからない
物の置き場所を思い出せないことがある	置き忘れ・紛失が頻繁にある
何を食べたか忘れる	食べたこと自体を忘れている
約束をうっかり忘れる	約束したこと自体を忘れている
物覚えが悪くなったように感じる	数分前の記憶が残らない
年次や曜日や日付を間違えることがある	年次や日付、季節がわからなくなる

※これはあくまで目安です。当てはまらない方もいます

認知症は誰にでも起こる病気です。

早期発見・早期治療が大切です。

認知症はどうせ治らないから医療機関にかかっても仕方ないと思いませんか？

**今後の対策、準備を
することができます。**

本人が落ち着いた時間をより長く過ごせる可能性があること。家族や周囲の人も認知症のことを知り、病気と向き合い話し合うことで今後の生活の備えをすることができます。

**早期の治療で治る認
知症があります。**

正常圧水頭症や慢性硬膜下血腫によるものなど早期発見・早期治療をすれば改善が可能なものもあります。

**薬で進行を遅らせる
ことができる場合も
あります。**

アルツハイマー病は早期ほど薬で進行を遅らせることができると言われています。

認知症の人への 対応

「さりげなく自然に」が一番の支援です。

●基本姿勢 「驚かせない」「急がせない」
「自尊心を傷つけない」

●具体的な対応のポイント●

1. 優しく思いやりのある接し方を心がけ、いつも穏やかな感情を引き出してあげましょう
2. 失敗を責めない、プライドを傷つけないように接しましょう。
3. 本人のペースに合わせてあげましょう。
4. 口調は優しく、穏やかに、はっきり、短く簡潔に話しましょう。